

## 平成27年度 事業報告

### 【当協会を取り巻く環境】

国は、国民の一人ひとりが、健康で質の高い生活を送り、それぞれの能力を家庭や職場・地域で発揮できる社会の実現を目指す中で、がん対策については「がん対策加速化プラン」を策定し、「予防」「治療・研究」「がんとの共生」を柱としたがんの克服に向けた取り組みを加速するとともに、がん登録推進法の施行と実施を推進しています。また、生活習慣病対策については「健康日本21（第二次）推進専門委員会」の中で、目標項目の進捗の確認や食生活の改善などが進められ、特にたばこ対策については受動喫煙対策を強化すべく、関係省庁の連携が進められています。また、健康診査については、昨年9月に「健康診査等専門委員会」が設置され、今後の健康診査のあり方などについて、科学的知見に基づき検討されているところです。

香川県においては、国の動きを踏まえ、健やか香川21ヘルスプラン(第2次)が推進され、「健康長寿かがわ」の実現に向けて、家庭・地域・学校・職場が一体となった新たな県民運動の展開と、健康づくりに必要なさまざまな施策が講じられているところです。

このような状況の中、当協会においては、当協会の基本方針である、「学校や地域・職域の健康診断及び特定保健指導を通して、健康状態を把握し生活習慣の改善や疾病を予防する機会を提供」し、「健康診断・保健指導から得られた情報を調査分析し、研究結果を学校や地域・社会に情報発信」に努めるとともに、これらを通して「生活習慣病やがんの予防、生活習慣の改善による健康づくりを推進し、県民の心とからだの健康の保持及び増進と健康な生活の実現」を推進しました。

### 公益事業1：心とからだの健康保持及び増進事業

#### 1. 健康増進の普及啓発事業

##### (1) 県民への普及啓発活動

県民への普及啓発活動は、時代背景や地域特性を踏まえて、新しい情報を的確に提供する必要のあることから、ホームページや新聞・TVなどを通して、①生活習慣病やがんの予防に関する情報、②健康診断の受け方や数値の見方・活用方法に関する情報、③生活習慣の改善方法に関する具体的な情報などを発信し、県民の健康意識の向上と心とからだの健康の保持及び増進を推進してまいりました。特にホームページでは、個人や団体向けに健康診断の種類や項目の解説や新しい情報の提供を行い、申し込みから健診結果の見方、健康増進・保健指導の実際まで具体的な情報を常時提供し、県民の健康保持及び増進に役立ててもらえるよう努めました。

##### (2) 県・市町・企業・各種団体との連携・情報発信

当協会は、生活習慣病やがんの予防に関する啓発活動・調査研究事業に取り組む民間機関として、県・高松市・企業、香川たばこの害から健康を守る会・ピンクリボンかがわ県協議会・がん患者会ネットワーク香川・香川県産業看護研修会などの団体と連携することで、より効果的な啓発活動を目指しました。

### (3) 生活習慣病やがんの予防に関する普及啓発活動

#### ① タバコに関する普及啓発活動

喫煙対策は、がんや生活習慣病の予防に最も重要で効果的な対策であるとともに、受動喫煙の害についても、子どもの呼吸機能への悪影響や肺がんを患うリスクが高まることが知られています。当協会は、高松市や香川・タバコの害から健康を守る会、関係機関と協働し、世界禁煙デー(5月31日)のイベントや受動喫煙に関する出前講座、医療従事者向けの講演会を開催し、タバコのない環境作りを積極的に推進しました。

○世界禁煙デー香川フォーラム2015 ―よしもととコラボして楽しく禁煙を―

日時：5月31日(日)13:00~15:30

場所：かがわ国際会議場

※終了後 よしもと芸人と禁煙ウォーク 16:00~18:00

○SMOKE FREE FORUM IN 香川2015 ―受動喫煙の害を再考する―

日時：平成27年12月12日(土) 15:00~18:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第二会議室

・講演1「医療従事者が禁煙レストランを推進する意義」

講師 平賀典子さん(禁煙工房 主宰)

・トピックス「私がスモークフリーレストランを開いた経緯と現況」

講師 藤本 朱さん(イタリアンレストラン Piatto)

・講演2「呼吸器疾患から受動喫煙を再考する」

講師 安田雄司先生(京都府下京西部医師会会長・啓生会安田医院理事長)

○平成27年度高松市協働企画提案事業等による出前講座

当協会は「香川・タバコの害から健康を守る会」の事務局として、平成27年度高松市協働企画提案事業「高松市の小・中学校、地域・職域を対象にした防煙教育」(9月1日~3月31日)などの出前講座の実施に協力しました。このうち職域については、当協会が関係企業への呼びかけや連絡等を行い14か所の企業での開催につなげることができました。また、講師は当協会顧問で香川・たばこの害から健康を守る会会長の森田純二先生が中心になり、県内のタバコ対策を熱心に推進する先生方に協力いただきました。

今後は、出前講座の前後に行ったアンケート調査結果などを踏まえ、今後のタバコ対策に役立てていくほか、禁煙希望者への禁煙指導の充実を図る予定です。

## 出前講座の実施状況

日時	実施先	対象・人数	講師
11月10日(火)	株式会社タダノ志度工場室	社員40人	森田純二
11月19日(木)	株式会社タダノ本社	社員22人	森田純二
12月4日(金)	東植田小学校	児童8人、教員4人	青江基
12月14日(月)	香川県弁護士会	弁護士会役員5人	森田純二、佐藤功
12月25日(金)	香川県弁護士会	弁護士会会員80人	森田純二
12月15日(火)	高松高等検察庁	検察庁職員(高松15人ほか四国3県)	森田純二
1月15日(金)	山田中学校	1年生230人	二宮純二
1月21日(木)	栗林小学校	5・6年生及び保護者教員436人	青江基
1月27日(水)	国分寺北部小学校	6年生・教職員・保護者156人	森田純二
2月3日(水)	高松市食生活改善推進連絡協議会	牟礼地区35人	二宮昌樹
2月4日(木)	高松市国税局	職員8人	二宮昌樹
2月5日(金)	マニユライフ生命保険(株)	社員25人	森田純二
2月9日(火)	高松市役所	喫煙職員50人 カウンセリング(2グループ10人)	佐藤功 森田純二
2月14日(日)	がん患者会さぬきの絆	がん患者・家族20人	森田純二
2月16日(火)	アルフレッサ篠原化学(株)	社員7人	森田純二
2月17日(水)	鶴尾小学校	(参観)6年生27人、保護者10人	三崎伯幸
2月23日(火)	(株)キタムラメディカル高松営業所	社員8人	森田純二
2月25日(木)	太田南小学校	教職員53人	森田純二
3月1日(火)	香川県信用組合	社員13人	二宮昌樹
3月1日(火)	高松市健康づくり実践団体	健康づくり実践団体約50人	森田純二
3月4日(金)	香川県薬剤師会	薬剤師・教育関係者70人	森田純二
3月5日(土)	(株)朝日段ボール	社員20人	森田純二
3月10日(木)	(公財)香川県予防医学協会	職員30人	森田純二
3月11日(金)	(株)タダノアイレック	社員250人	森田純二
3月14日(月)	百十四銀行	社員14人	荒川裕佳子
3月15日(火)	(株)トーカイ	社員21人	森田純二

② 子宮頸がんに関する普及啓発活動

上皮内がんを含めた子宮頸がんは20歳代の若年層で急速に増えていることから、若い世代への普及啓発として、高松市が実施する「お・と・な力アップ講座」等と連携し、講師派遣や教材等の提供を行いました。

お・と・な力アップ講座開催状況

実施日	実施先	講師	人数
平成27年 9月2日(水)	穴吹ビューティーカレッジ1～2年生(必修)	露木先生	100人
10月23日(金)	高松大学保育科1～2年生(必修)	塩田先生	53人
10月28日(水)	香川大学医学部3年生(任意)	露木先生・川崎先生	21人
11月18日(水)	香川大学医学部3年生(任意)	露木先生・川崎先生	29人
平成28年 2月19日(金)	県立保健医療大学 3～4年生(任意)	露木先生	4人
3月2日(水)	守里会看護福祉専門学校 看護・福祉・介護 1～2年生	露木先生	53人

(高松市より情報提供)

③ 乳がんに関する普及啓発活動

平成27年10月25日(日)、乳がん検診の大切さを訴えるために、「ピンクリボンいくしまウォーク&フェス」(主催:四国新聞社、共催:ピンクリボンかがわ県協議会ほか)が開催されました。当協会はこの事務局として、企画から開催に至る実務を担うとともに、県・ピンクリボン運動を支援する各種女性団体・がん検診受診率向上プロジェクト推進企業グループ・四国新聞社・乳がん検診実施医療機関、その他関係機関と連携し、乳がんに関する普及啓発を展開いたしました。

④ がん予防・がん検診の受診率向上に関する普及啓発活動

平成27年4月に発足した「がん患者会ネットワーク香川」が取り組む「自らの体験をもとにがんの早期発見の大切さを訴える活動」を支援し、5月10日(日)に開催された発足記念講演&シネマ(於:社会福祉総合センターコミュニティーホール)への参加呼びかけを行うとともに、会場において、がん検診啓発ティッシュの配布等を行いました。

⑤ 職域を対象にした働く人への普及啓発活動

当協会が実施する各種健康診断・各種がん検診(延べ約12万件)の約70%を占める職域健診を対象にメタボリックシンドローム啓発ティッシュやリーフレットの配布を行いました。また、香川県産業保健師会に協力し、10月20日に開催された第2回産業看護研修会(会場:当協会会議室)において「働き盛りのがん～検診から事後管理まで～」と題して講演し、働く人への健康対策を推進しました。(参加者42人)

⑥ HIV検査受診啓発週間（6/1～6/7・12/1）

HIV検査受診啓発週間（6/1～6/7・12/1）の県主催等のイベントに協力して、チラシ等の配布による受診啓発活動を行いました。

⑦ 健康づくりイベントへの協力

県が主催する「かがわ食育・地産地消フェスタ」（10月12日）に協力し、健康づくりや健康診断に関する情報を楽しく学んでもらえるよう「野菜を1日350g以上食べましょう」の内容でブース出展を行いました。

⑧ 常設展示コーナーでの健康教育

別館1階に常設している展示コーナーにおいて、健診受診者や来場者に対し、食事バランスガイドによる食事内容の見直しや野菜摂取の提案、運動習慣の振り返りなどの健康教育を実施しました。

⑨ JICA事業への協力

ブルネイでは、肥満及び糖尿病は深刻な国民病であるにもかかわらず、予防健診等は普及していないため、特に糖尿病受療率が高く県全体で予防に積極的に取り組んでいる香川県の特定健診・保健指導を軸とした生活習慣病対策について香川大学が研修を行い、当協会がこれに連携して研修生の受け入れを行いました。（9月25日）

## 2. 調査・研究事業

### (1) 精検追跡調査・がん調査・有症率調査

各種調査は、当協会の各健診事業の健診結果データに基づき、その後の状況追跡をして情報を収集し、地域の特性を知るためには経年的に継続調査することが重要です。そのため、当協会の健診結果データベースを基にした疫学的課題の検討を進める予定で、データ解析機器により、引き続き、データ取り込み作業並びにデータベース構築作業を行いました。

また、がん検診については、精度管理が最も重要であることから、当協会のデータ管理システムを用いて、実施主体や医療機関との連携により精密検査結果の把握を推進するとともに、必要に応じた要精検者の追跡調査、がん患者の追跡調査（5年間）など、各種精度管理事業を行い、それらの調査結果を実施主体など関係機関にフィードバックしました。

### (2) 健診データの分析・提供

健診で得られたデータは各部署で分析し、事業報告書の作成・配布により情報提供を行っています。本年度は昨年度実施した「事業報告書に関するアンケート調査」の結果内容の検討・分析を行いました。各自治体や企業が健康増進の取組みに活用しやすいように、今後、順次、事業報告書に反映していく予定です。

平成 27 年度は、特定健診：13,500 件、特定保健指導：動機づけ支援 290 件、積極的支援：120 件を実施しました。さらに、事業所及び職域健診：35,500 件、肺がん検診：30,000 件、胃がん検診：13,700 件、乳がん検診：6,300 件、子宮がん検診：6,400 件、前立腺検診：6,000 件、大腸がん検診：26,000 件、学校心電図検査（標準 12 誘導）：11,600 件の各検診・検査データ約 135,000 件を収集しました。

また、自治体や企業の担当者が必要とする情報を直接検索できるソフト（健診データ簡易検索システム）を一自治体（町）に提供しました。引き続き、デモ等通して、本ソフトの利用推進を図る予定です。

機器などの整備は保健医療技術や情報技術などの進歩を踏まえ、検診検査精度の維持向上、顧客データ管理や情報提供サービスの充実、業務効率化等に対応するために最新検査機器の調達更新をしました。

### (3) 公益事業推進会議の開催

効果的な公益事業の推進のために、今まで公益 1 調査研究事業と公益事業推進課が別々に行っていた会議を合同で開催することとし、新たに公益事業推進会議として発足することとしました。第 1 回公益事業推進会議（9 月 10 日）では、当協会の公益事業である普及啓発事業及び調査研究事業について、月 1 回公益事業推進会議を開催し、会議内容を理事会で報告し、活動内容を決定していく方向を示しました。本年度は公益事業推進会議を合計で 7 回開催いたしました。

### (4) 学会発表等による情報発信・精度管理

関係する学会、研修会、発表等に職員を積極的に参加させるとともに、新たに「香川県予防医学研究会」を開催し、職員の資質向上に努めました。

#### ①「第 1 回香川県予防医学協会研究会」（平成 28 年 2 月 18 日）の開催

あらゆる職種が業務の中で調査研究事業に関わり情報発信ができる体制の構築を目指し、大谷所長を中心に職員全体が発表できる内部研究会を開催し、職員の資質向上や各種検診の多様化・高度化に対応できるよう検診検査技量等の向上に努めました。

発表議題	所属課（科）	発表者
バリウム検査前の飲水と背景粘膜について	放射線科	松井 真澄
マンモグラフィ撮影時の安全対策	同 上	大坪 由紀
採血ラベルを導入して	施設健診科	山津 美穂
腹部超音波検査で認められた腎細胞癌の 2 例	同 上	松岡 恵美子
精検追跡調査結果から見た大腸がん検診の有用性	検査科	武田 靖子
当協会受診者における推算糸球体濾過量 eGFR に関する検討	同 上	齊藤 政宏
タンデムマス検査法におけるカットオフ値について	代謝検査科	小亀 恵
試験紙の尿蛋白測定について	善通寺巡回班	山根 早苗
顧客向け健康診断結果管理ソフトの開発・運用状況報告	業務課	吉原 小司

② 学会発表等

主な学会参加・発表及び研修会一覧

年月日	学会・研修会・講習会名	所属課(科)
(平成27年)4月19日	第39回香川県医学検査学会	検査科
5月15日～5月17日	第40回日本超音波検査学会学術集会	施設健診科
6月5日～6月6日	第54回日本消化器がん検診学会	放射線科
7月22日～7月23日	保健指導実践者育成研修会	保健指導科
8月27日～8月28日	全国情報統計研修会	業務課
11月15日	日本公衆衛生学会総会(発表)	診療科
11月29日	平成27年度四臨協 臨床化学検査研修会	検査科
(平成28年)2月25日	第50回予防医学技術研究会議	放射線科
3月11日～3月12日	日本マス・スクリーニング学会技術部会	代謝検査科

公益事業2：新生児の先天性代謝異常症の早期発見に必要な各種検査事業

1. 先天性代謝異常検査(タンデムマス法を用いたマス・スクリーニング検査)

香川県をはじめ県下医療機関の協力のもと約8千件(香川県分)の受託検査を実施いたしました。タンデムマス法により、19疾患(新たに13疾患)のスクリーニングが可能となり、偽陽性例や偽陰性例についても精度の高い検査結果を提供できたことから、より一層、先天性代謝異常疾患の早期発見並びに早期治療に役立てることができました。

以上